

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市東八幡4丁目 物流センター計画	階数	地上4F
建設地	神奈川県平塚市東八幡四丁目1249番1外3筆	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年5月16日
敷地面積	12,485 m ²	作成者	株式会社池田建築設計事務所
建築面積	7,115 m ²	確認日	2025年5月21日
延床面積	28,098 m ²	確認者	鈴与建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市に新築される物流倉庫である。 高効率な設備機器の採用等により、CO₂削減にも積極的に取り組む計画となっている。 	その他 特になし
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> 化学汚染物質の少ない建材を採用し、空気室環境の改善に努めている。 	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。 	Q3 室外環境 (敷地内)
	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	<ul style="list-style-type: none"> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを使用しているため、躯体と仕上の分別が容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> 植栽により良好な景観を形成している。 燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される